

# 安全宣言

今年、昭和48年から始まったゼロ災運動が50周年を迎える。

関係者のたゆまぬ努力により、労働災害は長期的には減少傾向にあるが、令和以降、最近は減少から増加に転じている。節目の50周年に当たり、今一度、ゼロ災運動の原点を再確認しなければならない。

ゼロ災運動は、「カケガエノナイ一人ひとりを、誰一人ケガをさせない」という人間尊重の理念に基づき、労働災害をゼロにすることを究極の目標としている。そして、全員参加で安全と健康を先取りして、明るくいきいきとした職場風土づくりを目指す運動である。

ゼロ災運動を推進するためには、「働く人一人ひとりが大事だ」、「一人もケガ人は出さない」という経営トップのゼロ災害・ゼロ疾病を目指した揺るぎない経営姿勢とリーダーシップが重要である。加えて、ラインの管理監督者による安全衛生管理の徹底、リーダーを中心とした自主的な職場小集団活動の活発化により現場力を向上することが求められる。

企業を取り巻く環境には依然として厳しいものがあるが、情勢がいかに厳しくとも、「労働者の安全と健康確保は企業経営の根幹である」との認識のもと、あらためて、ゼロ災運動の原点に立ち返って、安全で安心して働ける職場の実現のため全力で取り組む。  
右宣言する。

令和6年1月10日 公益社団法人宮崎労働基準協会 宮崎支部

株式会社 塩川産業  
代表取締役 塩川聖

